

The Newsletter of International College of Dentists JAPAN Section



2019年3月29日

vol.9 Issue 1

ご挨拶



水谷忠司先生の後任として2018年6月2日(土)の総会において会長職を仰せつかりました。諸先輩のご努力で築かれてきた伝統ある国際歯科学士会日本部会をさらに発展すべく、微力ながら新執行部一同鋭意努力する所存です。

本会三大事業につきましては、年末集会在去る2018年12月15日(土)に帝国ホテルにおいて盛会裏に終了し、冬期学会が2019年3月10日(日)に日本歯科大学で「我が国の歯科医療・歯学の国際化に向けて」をテーマに開催されました。2019年度の総会・認証式についても準備を進めています。

国際歯科学士会は奥村鶴吉先生の構想から間もなく100年になるので、本部では100周年記念行事を2020年11月に名古屋で開催することを決定しています。また、日本部会にとりましても名誉なことに千田 彰先生が本部長に就任予定です。このような節目の時期を迎えて、日本部会のプレゼンスを一層高めていきたいと考えていますので、会員の皆さまのご支援とご指導を宜しくお願い申し上げます。

(一社)ICD日本部会 会長 宮崎 隆

歴代会長のことば

ICD創立100周年に思う



国際歯科学士会ICDは2020年に創立100周年を迎えます。

現在は宮崎会長のもと、水谷前会長を始め、中部支部フェローがその準備をしています。

私はICDに入会して39年になります。その古今を振り返ってみたいと思います。

1970年、1980年代は日本部会に入会する事は勿論、冬期学会に会員外で出席することすら大変な時代でした。丁度その頃に補綴学、歯科医療管理学などの新しい考えや、技術が次々と紹介される時代でもありました。そんな時、友人と誘い合わせて講演会に参加することに優越感を覚えた程でした。

その間の科学の進歩は素晴らしく、特に今日のITの進歩はめざましく情報の発信力は驚異的な進歩をしました。当時を思い起こしますと、第一次産業革命で動力が発見され機械化が進んだように大変な発展をしました。現在の世界も、もの凄いスピードで進歩しています。

IoT、AI、といったハイテク技術の進歩によって、社会は大きな転換点を迎えています。

人工関節を持ったAI、IoTを利用したビックビジネス、これらの行く末を早く理解し、歯科界に反映させて欲しいと思います。

第24代会長 江間 誠一郎

2019年度 三大事業 開催予定

第62回総会・認証式

2019年6月8日(土)
ホテルメトロポリタン
エドモント

年末集会

2019年12月7日(土)
帝国ホテル(東京)

*皆様のご参加を
お待ちしております*

◎ 総会・認証式

2018年度の総会・認証式は2018年6月2日(土)東京ステーションホテルにおいて、Clive Ross国際会長ご夫妻を始めとし多くのご来賓のご臨席のもと14名の新フェローを迎え盛大に挙行されました。恒例の前夜祭も東京プリンスホテルにて韓国部会、台湾部会のご来賓とともに国際会長を囲み、和やかな雰囲気の中開催されました。総会では3議案が上程され、賛成多数ですべての議案が承認されました。認証式は威風堂々が流れる中、14名の新フェローが入場し、Key、認証状、綱領、バッジがそれぞれ手渡された後、宣誓が行われ、晴れて14名の正会



2018年度新フェロー認証式

員の誕生となりました。特別講演では日本歯科医師会の堀 憲郎会長をお招きし「口腔の健康と全身の健康」と題してご講演いただきました。懇親会は146名という多くの参加者を集め、新フェローの自己紹介等を交え楽しく、和気藹々の雰囲気の中、無事終了となりました。

なお、2019年度の総会・認証式は場所を変え、飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントにて行われる予定になりました。多数の会員の方のご来場をお待ち致します。

事業運営委員会(総会・認証式担当) 委員長 赤井 淳二



日本歯科医師会 堀 憲郎会長

◎ 年末集会

2018年度の年末集会は12月15日(土)に16時より帝国ホテル 光の間にて開催され、特別講演は前島健吾事務局長のご紹介で、マリーゴールドクリニック院長の山口トキコ氏を講師としてお迎えして、「健康への近道は腸内環境を整えることから」と題してご講演を賜りました。講演では、口と肛門はどちらも生活の質に関係する大切な器官であること、痔の原因の多くは便秘であり食生活の改善が必要であること、最近では歯周病菌が腸内細菌のバランスを壊し、全身に悪影響を及ぼしている可能性も示唆されていることについてお話いただきました。

アトラクションは七沢久子財務主事のご紹介で、クラシック歌手の本岩孝之氏をお迎えして名曲の数々を披露いただき、深みのあるバリトンと優美なカウンターテナーの両方の歌声に魅了されました。

懇親会は星野フェローの司会のもと始まり、M A Mominフェローによる留学生3名のご紹介があり、和やかな雰囲気の中、参加者の方々と懇親を深め閉会となりました。

事業運営委員会(年末集会担当) 委員長 佐野 修司



招待留学生パネル展示



特別講演 山口トキコ氏



アトラクション
本岩孝之氏

◎ 冬期学会

2019年3月10日(日)ICD日本部会第49回冬期学会が日本歯科大学生命歯学部九段ホールにて開催されました。今回の冬期学会メインテーマは「我が国の歯科医療、歯学の国際化に向けて」です。また、初の試みとして午前10時開会となり、講演Ⅰ小峰一雄フェロー、講演Ⅱ佐藤裕二フェロー、講演Ⅲ千田 彰フェロー、講演Ⅳ東京医科歯科大学 森尾郁子先生、講演Ⅴ新潟大学 山崎和久先生、講演Ⅵ東京歯科大学 井上 孝先生と6名の講師を迎え、国際貢献の体験や国際化の中で日本の歯科医療や歯学が抱える現状、今後の課題、そしてICDの今後の活動の指針など多岐にわたりお話を伺うことができました。

最後にICD JAPAN声明として「ICD JAPANは世界のICDの一員として歯科医療の国際化を推進します」と発表いたしました。

冬期学会終了後の懇親会では、演者の先生方を囲み大変楽しい時間を過ごすことができました。執行部はじめ



左から 小峰常任理事、佐藤フェロー、千田次期国際会長、森尾先生、山崎先生、井上先生

多くのフェローの方々と事務局のご尽力のもと、有意義な冬期学会を執り行うことができ、ご協力をいただきました皆様に深く感謝いたします。

事業運営委員会(冬期学会担当) 委員長 宮本 克樹

◎ 改革推進委員会

改革推進委員会は定款並びに規約、さらには諸問題に関して、執行部から諮問された事項を協議・検討し、答申します。

本年は小峰一雄常任理事、大岡 洋理事、内田耕司委員長、和久本雅彦委員、酒井周一委員、中村朋美委員、麻生幸男委員の7名より構成しています。

現在は、今までに改革推進委員会で行ったアンケート結果を踏まえ、ICD日本部会の改革案を詳細に検討し実現性の順列等を討議して、改革案の実行性を高めるべく活動をしています。

改革推進委員会 委員長 内田 耕司



改革推進委員会

◎ 広報・編集委員会

広報・編集委員会では国際歯科学士会日本部会雑誌の発刊とホームページの管理、運営を柱にICDの活動を記録しつつ、広報・編集活動を行なっております。



広報・編集委員会

今年度は、今村嘉宣常務理事、佐藤 聡理事の下、「国際歯科学士会日本部会雑誌 第49巻1号」を発刊しました。次号では、特別企画として「歯科のこの100年の歩みと今後の展望—ICD100周年に向けて—(仮)」の執筆者について、協議を行っております。

また、ホームページについて、広報・編集委員会にて委託管理会社を協議し、次年度より一世出版に委託することに決定致しました。移行に伴うアナウンスを移行前のホームページに掲載することにしましたので、ご確認をお願い致します。本ホームページの委託に伴い、読者により分かり易いコンテンツの刷新を今後の活動として検討を行っていく予定であります。ご意見をいただくと幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

広報・編集委員会 委員長 弘中 祥司

● 国際交流委員会

国際交流委員会では日本部会総会・認証式で各国ICDフェローとの交流並びに、各国認証式への出席、海外留学生への啓蒙活動等を引き続き行っていきます。



国際交流委員会

昨年12月には、初めて韓国部会認証式に宮崎会長、隅田副会長、前島事務局長、七沢財務主事、鈴木常任理事、坂本フェロー、堀江フェロー、林フェロー、千田理事と私久保田が参加いたしました。韓国および台湾部会会長が出席された前夜祭が開かれ、日本・韓国・台湾の3か国の交流がより一層深くなりました。次の日の認証式および懇親会は、日本部会の参加者と韓国部会フェローとの友好的な雰囲気のなかで行われました。

また、年末集会においては、初の試みで、カクテルパーティーの時間を活用しての海外留学生によるポスター発表をしました。

本年度は、6月に韓国部会と台湾部会の認証式に参加する予定です。

国際交流委員会 委員長 久保田 幸伸

● 財務委員会

財務委員会は、国際菌科学士会日本部会の三大大行事の運営を財政面から業務支援しています。これらの諸行事は、フェローの皆様お一人おひとりの年度会費を原資としていますので、会費納入と新入フェローの獲得が財務委員会の継続的な重要課題です。

一方では、毎年企画される執行部の事業運営に予算を適正に配分するよう財務主事の業務を支援することにも力を注いでいます。特に、現執行部が直面するICD100周年事業に必要な財政的な基盤整備は、当委員会にとっても大切な仕事と考えています。

今年度の財務委員会は、七沢久子財務主事を筆頭に、三宮慶邦副委員長、塚本 亨委員、原田庸平委員、小嶋太郎委員、佐藤節子委員、そして私で構成されており、優れたチームワークとコミュニケーションのもと、効率

的な委員会運営を心がけています。

財務委員会 委員長 西田 絃一



財務委員会

● 会員支援委員会

私共会員支援委員会は、会員の皆様の三大大事業を始めとした活動の中で、1人でも多くのフェローがこの誇り



会員支援委員会

あるICDのメンバーであることを喜びとしていけるよう皆様のサポートをさせて頂いております。今年度認証式に於いて14名のニューフェローをお迎えし、各種お手伝いをさせて頂きました。また第3回錦齢会、第2回菁々会の開催も宮崎会長のご指示の下無事に行われました。年末集会も盛会で、益々ICDの発展を予感させるものとなりました。3月には冬期学会が開催されますが、委員会全員での参加とより良い運営をサポートさせていただきたいと考えています。2020年はICD創立100周年を迎え、その記念事業と国際理事会が名古屋においておこなわれます。世界のフェローとの交流の中、今後のより意義のある会員支援の在り方についても模索していきたいと考えております。

会員支援委員会 委員長 安藤 正実

◎ 2018年度ニューフェロー紹介



麻生 幸男 フェロー

この度、羽田先生のご紹介、川嶋先生、富永先生のご推薦により、2018年度の新フェローとして伝統と格式あるICD日本部会に入会させていただきました麻生幸男と申します。



明海大学口腔診断学講座出身でGPの基礎を学び、郷土である静岡での開業を経て現在、昭和大学歯科矯正学講座の研究生として横先生にご指導いただいております。好きな臨床はう蝕予防、カリオロジーであります。

ICD新フェローとして、歯科医学領域に広く貢献できたら幸いに存じ上げます。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

押村 進 フェロー

この度、ICD日本部会に千田 彰先生、岡崎好秀先生のご推薦をいただき、2018年度新フェローとして入会させていただきました。大変光栄に思っています。



名古屋市出身で、現在は前田利家公の生誕の地、中川区荒子という場所で、長男長女と一緒におしむら歯科子供矯正クリニックを開業しています。

学位は愛知学院第一口腔外科にて取得しました。以前は藤田医科大学皮膚科学教室で客員講師もさせていただけていました。金属アレルギー、歯科的病巣疾患と皮膚疾患、腎臓疾患、リウマチとの関わり、連携などに力を入れてきました。

趣味は作曲、ラジコン、釣りなどです。地元のご当地ソング、歯科衛生士学校の校歌、踊りのチームへの楽曲提供などもしています。

今後ともよろしくご指導のほどお願いいたします。

片山 莊太郎 フェロー

この度、千田 彰先生、富士谷盛興先生のご推薦により、伝統あるICD日本部会に入会させていただきました、大変光栄に存じます。



広島大学歯学部を卒業後、同大歯科麻酔学教室で学位を取得し、現在は地元・広島県三次(みよし)市で開業しております。大学在籍中、医科研修の機会に恵まれ、麻酔学はいうに及ばず医療連携から学会発表、臨床研究に至るまで多くのことを学びました。他方、医科研修は社会的逆

風により縮小化となり、医師と連携の取れる歯科医師の育成の必要性を感じたものでした。このことが、いまだに日本歯科麻酔学会に席を置き、医療連携や全身管理の普及活動をしている原点になっています。

今後はICDフェローとして、この活動も社会貢献の一環であると認識し、さらに邁進していく所存です。どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

上條 竜太郎 フェロー

この度、井上富雄先生、真鍋厚史先生のご推薦により、伝統ある国際歯科学士会日本部会に入会させていただき、大変光栄に存じます。



私は神奈川県鎌倉市の出身で、昭和大学歯学部を卒業後、昭和大学歯学部第二口腔外科学教室に大学院生として入局しました。その後2度の海外留学を経て、平成13年4月に昭和大学歯学部口腔生化学講座教授を拝命し、現在に到っております。主たる専門領域は骨代謝でございます。

ICDフェローとして、広く国際社会に貢献して参りたいと思っております。ご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒宜しく御願ひ申し上げます。

佐藤 尚 フェロー

この度、宮崎 隆教授、真鍋厚史教授のご推薦を賜り、国際歯科学士会に2018年度新フェローとして入会させていただきました佐藤 尚と申します。岐阜県出身で昭和63年に昭和大学歯学部卒業後、保存修復学講座入



局し、故和久本貞雄先生に師事しました。2年間働いた後、昭和大学大学院歯学研究科に進学し、平成6年に修了、昭和大学歯学部歯科保存学講座兼任講師を経て、平成8年に岐阜県美濃加茂市にて高齢者医療、教育を軸とした歯科医院を開院しております。名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学講座、東京医科歯科大学大学院歯医学総合研究科全人的医療開発系包括診療歯科学講座で非常勤講師として研修医の教育に携わり、平成25年より財団法人歯科医療振興財団プログラム責任者講習会実行委員会委員としてプログラム責任者の育成をしています。今後は本会を通じて歯科界の発展に貢献できればと考えております。皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

鈴木 仙一 フェロー

この度、宮崎 隆昭和大学歯学部長と金子明寛東海大学医学部教授に推薦を受け、入会させて頂きました鈴木仙一と申します。12月にNYにてコロンビア大学学長のDr. Christian Stohlerと同窓会長のDr. Thomas Magnaniまた、ICOI会長のDr. Kenneth Judyと会食して改めてICDの凄さを知りました。ICDで来日するとの事で、何故かと聞くとICDは実質一人の日本人が作った学会だと知らされました。入会出来て本当に光栄です。推薦して頂き感謝です。現在、臨床の傍ら、海老名市歯科医師会会長、ICOI次期世界会長、日本大学松戸歯学部臨床教授を務めております。趣味はゴルフでHCは10ですが、年に5回位しか出来ません。今年は全国初の海老名市のオーラルフレイル介入調査を成功させ歯科界に貢献したいです。



高山 真一 フェロー

この度、水谷忠司先生、奥村隆久先生のご推薦により入会させていただきました高山真一と申します。伝統あるICDのメンバーの一員とさせていただき、大変身に余る光栄だと感じております。



私は、大阪大学歯学部を卒業し、同学口腔治療学講座に入局し13年間細胞増殖因子を応用した歯周組織再生療法の開発に傾注して参りました。2016年秋にリグロスの製造販売が厚労省より認可されるに至り、基礎研究から始めたことが臨床の現場に還元されるダイナミックな事象に携われたことに望外の喜びを感じております。現在は、滋賀県大津市にて開業しております。

今後、微力ではありますがICDの発展に寄与したいと思っております。ご指導ご鞭撻賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

種市 良厚 フェロー

この度、松尾 通先生、佐野修司先生のご推薦により入会させていただきました種市良厚です。

1979年日本歯科大学新潟歯学部を卒業後、武蔵野赤十字病院歯科口腔外科に常勤、非常勤合わせて13年間お世話になりました。その間日本大学の矯正学講師の先生の下で矯正を勉強しながら日本歯科大学小児歯科学講座の研究生として学位を取得し、同時に開業しながら経営学を独自に勉強してまいりました。全国で歯科経営セミナーの講演をやりながら約20の学会に所属しオールマイティな歯科医をめざして日夜勉強と診療



に明け暮れております。微力ではありますが本会のお役にたてる様精一杯頑張っております。

林 建佑 フェロー

この度、千田 彰先生と富士谷盛興先生のご推薦により2018年度新フェローとして国際歯科学士会日本部会に入会させていただきました林 建佑と申します。歴史と伝統あるICDに入会させていただき大変光栄に存じます。



出身は名古屋市で愛知学院大学歯学部を2010年に卒業後、同大学大学院を修了し保存修復学講座で勤務して、現在講師を務めさせていただいております。新フェローとして微力ながら貢献させていただきたく存じます。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

藤井 肇基 フェロー

この度、佐藤吉則先生、前島健吾先生のご推薦により、新フェローに入会させていただきました藤井肇基と申します。日本大学歯学部卒業後、同大学補綴学講座大学院を修了し、医局に数年お世話になってから父の後を継いで名古屋で開業しています。大学院の頃「顎口腔系の状態と全身状態との関連に関する研究」に関わらせていただいたご縁で、咬合と全身との関係がライフワークになりました。地区では、中区歯科医師会連携室理事として、病診連携や訪問診療を通じて他業種の方との交流を行っております。今後は本会を通じて、少しでも歯科界の発展や地域歯科医療への貢献ができればと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



掘江 卓 フェロー

千田 彰先生と富士谷盛興先生のご推薦により入会させていただきました。出身は鳥取県で、愛知学院大学歯学部を卒業後に同大学大学院歯学研究科(歯科保存学専攻)で学位取得し、現在は保存修復学講座で講師をしております。



国際交流委員会の委員を担当させていただくことになり、12月には同委員会の鈴木佳弘常任理事や久保田幸伸委員長などの先生方とともにICD韓国部会の認証式に出席させていただきました。微力非才の身ではございますが、今後も会の発展に貢献してまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

榎 宏太郎 フェロー

この度、宮崎 隆先生、真鍋厚史先生のご推薦で入会させて頂きました。

平成元年に昭和大学大学院を修了した後に、UCSF(カリフォルニア大学サンフランシスコ校)矯正歯科の客員教授を経て、平成15年より昭和大学歯科矯正学講座の教授を拝命しております。平成23年にはBasel大学客員教授、平成25年からは早稲田大学客員教授も兼任させて頂き、歯科矯正学とともに工学系の研究も進めております。趣味といえば、新しい医療用装置の開発と時計集めでしょうか…。食べることも趣味の一つだったのですが、最近、メタボ改善を命じられたため、あまり食べられません。

ICDの活動を通して皆様と仲良くさせて頂ければ幸いです。



又吉 誉章 フェロー

この度、川嶋仁一先生、小野清一郎先生の御推薦により2018年度新フェローとしてICD日本部会に入会させて頂きました又吉誉章(またよしたかあき)と申します。

神奈川県鎌倉市の出身で、九州歯科大学を卒業後、同大学大学院(第2口腔外科)にて飛び級で学位取得、同講座の助手をした後、現在、鎌倉にて医院を父から継承しております。

神奈川県歯科医師会 組織活性化委員会委員と青年部副委員長を務めておりました、歯科医師会を魅力あるものにして、歯科医の地位向上を目指しています。今後は、ICDの一員として社会貢献をしていきたいと思っております。御指導御鞭撻の程、宜しく願い致します。



◎ 第3回錦齢会 報告

2018年10月28日(日)に東京、帝国ホテル「ラ・ブラスリー」において、終身フェローの先生方をお招きし、第3回錦齢会を開催致しました。水谷忠司前会長により発案されたこの錦齢会の目的は、歴史と伝統あるICD日本部会の貴重なお話を先輩フェローから次の時代に繋げることです。四役及び各委員会常任理事などのご参加で、格調高い雰囲気の中で素晴らしい懇親会となりました。

私達会員支援委員会は、年代を問わずフェロー相互の結束を強固にして、日本の歯科界において珠玉の活躍をされている多くのフェローの相互協力を円滑にし、その結果世界の歯科医療、更に皆様の健康に貢献するというICD本来の目的を実現するために存在しております。

春は菁々会においてニューフェローとの交流と上野

の桜をめながら優雅な時間を過ごし、秋はこの錦齢会で重厚な雰囲気の中、日本の歯科界の宝である先輩フェローのお話に耳を傾ける貴重な時間を皆様と一緒に過ごす事ができる、まさにICDフェローに選ばれた名誉ある歯科医師の会が、ここにあります。

本年度も宮崎 隆会長の元、10月下旬に錦齢会が開催される予定です。

フェロー皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

会員支援委員会 委員 東海林弘子



錦齢会参加フェロー



帝国ホテル「ラ・ブラスリー」での会食

◎ 2018年度中部支部総会・学術講演・懇親会 報告

ICD日本部会中部支部の2018年度中部支部総会が、2019年2月3日(日)に名古屋キャッスルプラザホテルにて開催されました。総会では2018年度の事業・会計報告が承認されました。次に、2019年度の中中部支部活動について協議・承認がありました。

また、2020年に開催されるICD創立100周年記念事業について、千田 彰フェローより詳しく説明がありました。

学術講演は、ICD中部支部の押村 進フェロー (NF) による「歯科と皮膚科の連携」についての講演があり、今後の歯科医療において大変有意義なお話をご講演い

ただきました。

その後、懇親会が中部支部会員18名・同伴夫人3名、本部から6名のフェローの参加で始まりました。服部修支部長、隅田百登子副会長のご挨拶があり、2018年度に入会された中部支部の新フェローの紹介並びに自己紹介がありました。そのあとは出席者全員による恒例の「一言・近況報告」が行われ、ユニークなスピーチに会場全体が盛り上がり、楽しい雰囲気に包まれ、いっつもながらの和やかな懇親会となりました。

中部支部 久保田 幸伸



懇親会参加フェロー



押村 進フェローの講演

◎ 第7回関東地区セミナー 報告

恒例となりました関東地区セミナーですが、2018年9月22日(土)に東京都千代田区の東京区政会館にて第7回を開催し、宮崎 隆会長と七沢久子財務主事に講師をお願い致しました。

七沢先生には「言葉と感情を制御するリスクマネジメント」と題し、言葉の持つ力を研究する言霊学(げんれいがく)と歯科診療、歯科医院経営のヒントについて説明していただきました。副交感神経優位となる情緒語(うれしい、楽しい、幸せ、大好き、愛してる、有難う、ついでる、大丈夫)を意識的に用いることが大切だと強

調されました。

宮崎会長には歯科医療におけるデジタルソリューションの変遷と現状の課題、将来の展望を解説していただきました。デジタル印象採得装置のワークフローにより、光学印象データをクラウド上で共有し、模型を介さない歯科技工が広がると予想されました。

今回もたいへん好評でしたが、今後も興味深いテーマを企画してまいりますので、次回も多数のご参加をお願いいたします。

事務局長 前島 健吾



宮崎会長のご講演



七沢財務主事のご講演